

# FCI東日本インターナショナルトライアル

■公開訓練試験併催（BHを含む）  
■CACIT・CACIOB・理事長賞付与

## 2025

開催日：2025年3月16日（日） [雨天決行]

審査員長兼公開訓練試験委員 北村佳久

IGP(追及) 開催日 2025年3月14日(金) [雨天決行]

IGP審査員長 三谷郁子

IGP(服従・防衛) 開催日 2025年3月15日(土) [雨天決行]

※IGPの部については、申込頭数により、会場変更及び競技日程が追加される場合がありますので、予めご承知下さい。また、IGPへご出陳の方には会場日程等ご連絡させていただきます。

※受付時間及び競技開始時間にご注意下さい。

※全競技終了後、理事長賞決定競技を行います。

※審査、出場順は、出陳目録掲載番号順を原則とします。また、発情犬は、各クラスの最後に競技していただきますので、受付時に申告して下さい。

※東日本インターナショナルトライアルにおける、準高等科、高等科、服従スペシャル、臭気選別の部（他臭）、オビディエンスⅢ、FCI国際作業犬（IGP）の出陳犬は、ジャパンケネルクラブへ個体識別登録（マイクロチップ、またはタトゥー）が必要となります。

※出陳目録には、当該犬のデータの他に所有者名並びに所在地（都道府県・市区）が掲載されます。

会場：栃木県真岡市 二宮きぬわいわい広場

受付時間：午前7時00分～8時00分

競技開始：午前8時00分 [予定]

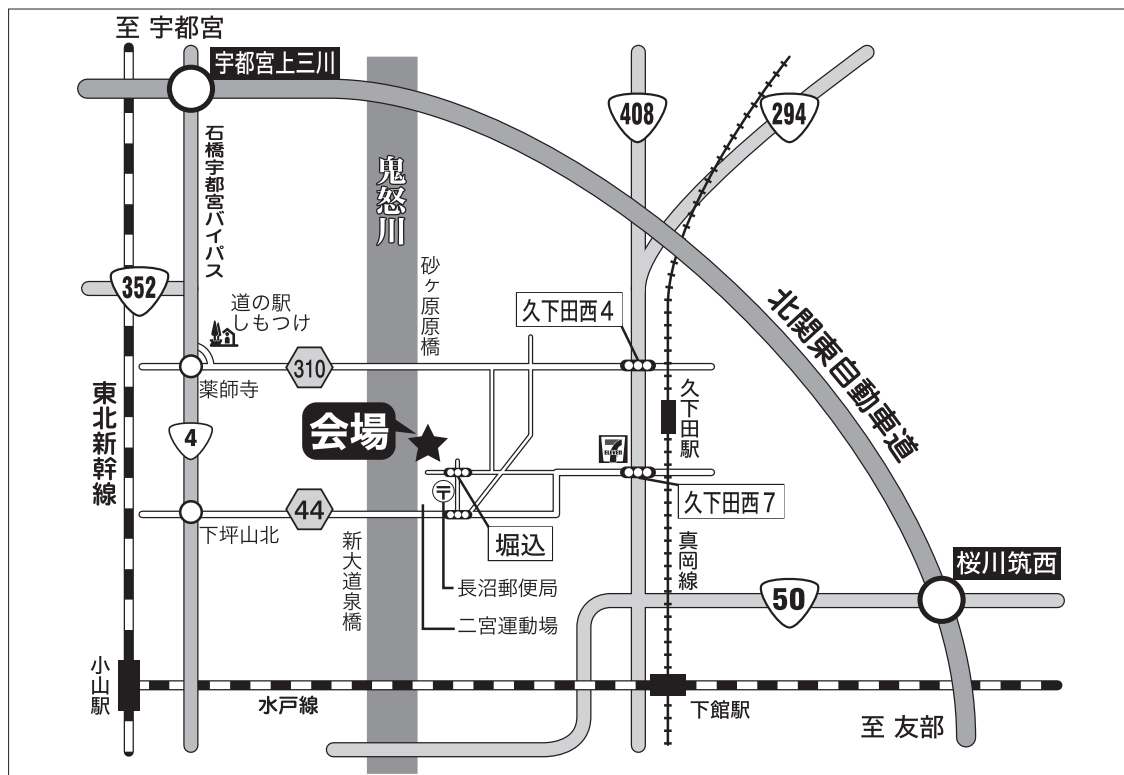
### 競技大会事務所

〒329-0515 栃木県下野市中大領406-2  
栃木トレーナーズ全犬種クラブ 内  
池上 行雄 方 TEL 0285-53-1613

申込開始日：2025年2月8日（土）

申込締切日：2025年2月22日（土） **郵便必着**

※当日申込み及びFAXでの受付は致しません。



### <会場について>

開門時間 6時から  
会場整備費 1日：1,000円  
※会場での車中泊・宿泊はできません。

### 参加上の 注意事項

- ①開門時間前に門の前に並ぶ行為はおやめ下さい。
- ②車輛は指定された駐車位置に駐車して下さい。
- ③駐車スペースの場所取りは禁止とします。
- ④駐車スペースを含む会場内でのテント・タープ等の設営は禁止です。
- ⑤駐車スペースを含む会場内は火気厳禁・完全禁煙です。
- ⑥リンク以外では必ず犬に紐を付けて通行して下さい。
- ⑦水道設備がございません。各自でご用意をお願いします。
- ⑧本競技大会でのお弁当の配布はございません。
- ⑨ゴミ、糞便は各自お持ち帰り下さい。
- ⑩会場では必ず各係員の指示に従って下さい。
- ⑪悪天候や感染症の流行などのやむを得ない理由により競技会を中止する場合は、事務手数料として出陳料より1,000円を申し受け、残金を返金いたしますのでご了承ください。

主催 東日本ブロック訓練士協議会

担当 北関東ブロック訓練士協議会 後援 国際畜犬連盟 (FCI) / 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ (JKC)

# 実施要領

## 1 出陳規定

- 1) 本会会員が所有する、生後満9カ月1日以上(2024年6月15日及びそれ以前の生まれ)の本会登録犬(アペンディクス登録犬を含む)に限ります。
- 2) 本会会員所有の非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬は、生後満9カ月1日以上であれば家庭犬準初等科・特別犬の部・オビディエンスビギナーⅠ～Ⅱに限り出陳することができます。ただし、訓練チャンピオン資格犬にはなりませんので、トレーニングチャンピオン(T. C.H.)ポイントカードは付与されません。
- 3) 準高等科、高等科、服従スペシャル、臭気選別の部(他臭)、オビディエンスⅢ、FCI国際作業犬(IGP)の出陳犬はジャパンケネルクラブへ個体識別登録(マイクロチップ、またはタトゥー)が必要となります。
- 4) 同一犬の重複出陳については、以下の通りとなります。
  - ① 家庭犬準初等科・初等科・中等科・準高等科・高等科は、連続する2つのクラスまで出陳できます。  
※例えば、家庭犬中等科と家庭犬準高等科では同時出陳できますが、家庭犬中等科と家庭犬高等科では同時出陳することはできません。
  - ② 家庭犬準初等科・初等科・中等科・準高等科・高等科のうち1つのクラスと臭気選別の部・足跡追及の部・FCI国際作業犬(IGP)Ⅰ～Ⅲのうち1つのクラスに出陳できます。
  - ③ 臭気選別の部と、服従スペシャル・足跡追及の部のうち1つのクラスまで出陳できます。
  - ④ 家庭犬中等科・準高等科・高等科・臭気選別の部・足跡追及の部のうち1つのクラスと、オビディエンスⅠ～Ⅲのうち1つのクラスに出陳できます。
  - ⑤ オビディエンスビギナーⅠ～Ⅱのうち1つのクラスと、服従スペシャル・オビディエンスⅠ～Ⅲ・FCI国際作業犬(IGPⅠ～Ⅲ)を除く全てのクラスのうちの1つのクラスに出陳できます。
  - ⑥ 服従スペシャルと中等科・準高等科・高等科・オビディエンスⅠ～Ⅲ・FCI国際作業犬(IGP)Ⅰ～Ⅲのうち1つのクラスに出陳できます。
  - ⑦ IGP単課目の同一クラスのうちの2つの課目まで出陳できます。
  - ⑧ IGP単課目のクラスのうちの1つの課目と、家庭犬高等科・臭気選別の部・足跡追及の部のうちの1つのクラスに出陳できます。
  - ⑨ ラリーオビディエンスⅠ・Ⅱのうちの1つのクラスと特別犬を除く全てのクラスのうちの1つのクラス。ただし、ラリーオビディエンスⅠ・Ⅱに出陳する非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬は家庭犬準初等科・特別犬の部・オビディエンスビギナーⅠ・オビディエンスビギナーⅡのうちの1つのクラスに出陳できます。
  - ⑩ 同一犬が、複数のトレーニングチャンピオン(T. C.H.)ポイントカード及びメジャー・トレーニングチャンピオン(M. T. C.H.)ポイントカードを取得した場合、1クラスのみ有効とします。家庭犬とオビディエンスで重複した場合も同様に1クラスのみ有効とします。有効とするポイントは出陳者の方が選択してください。
- 5) 伝染病・皮膚病など健康上の危惧がある犬、並びに咬癖犬・妊娠犬の出場はご遠慮下さい。また、発情犬は、各クラスの最後に審査を行います。
- 6) 会場内における事故の責任は、一切所有者といたします。本競技会規定並びに実施要領は別記の通りですが、都合で一部変更する場合があります。

## 2 申込方法

- 1) 競技大会出陳申込  
所定の出陳申込書に必要事項を記入し、出陳料1頭1クラスにつき10,000円、IGPⅠ～Ⅲの総合は1頭につき20,000円を添え締切日までに競技会事務局必着となるように申込下さい。
- 2) 公開訓練試験受験申込(BHを含む)  
各「訓練試験受験登録申請書」に必要事項を記入し、受験料1科目につき5,400円を添え締切日までに大会事務局必着となるよう申込下さい。なお、BH(同伴犬訓練試験)については2025年2月8日を受付開始日とし、申込頭数が10頭になり次第締め切らせていただきます。10頭を超えた受付分については、抽選とさせていただきますので予めご了承下さい。  
※両申込とも競技会当日、会場での申込は受付いたしません。また、FAXでの申込も、受付いたしません。

## 3 審査規定

- 1) 審査は、JKC公認審査員により厳正公平に採点いたします。
- 2) 競技課目は「訓練試験課目・訓練競技課目に関する規程」により行います。
- 3) 競技はアマチュア指導手の部6種目と一般の部30種目に分けて行います。

- 4) 総合得点が同点の場合は、規定課目の得点の高いものを上位とします。規定課目の得点も同点の場合は、担当審査員が判定します。
- 5) 審査の結果に対しては異議の申し立ては許されません。
- 6) 各部共、全ての課目は脚側停座に始まり、脚側停座で終わります。これが守られない場合は、減点の対象となります。
- 7) IGPに関しては、FCI国際作業犬規定に準じて行われます。

## 4 IGPの部の出場資格について

BHを取得登録済みでなければIGPに出陳できません。

(年齢)

IGPⅠ	2023年9月13日及びそれ以前の生まれ (生後18カ月1日以上)
IGPⅡ	2023年8月13日及びそれ以前の生まれ (生後19カ月1日以上)
IGPⅢ	2023年7月13日及びそれ以前の生まれ (生後20カ月1日以上)

- 1) IGPの資格登録のない犬の場合… IGPⅠに出場できます。ただし、IGPⅠ(A+B+C)に出場する場合は、IGPⅠの同時受験が必要です。申し込み時に「国際作業犬試験受験登録申請書」に受験料5,400円を添えて同時に申請下さい。また、IGPⅠ受験に際しては、BHに合格し、登録されている必要があります。その上で競技会で合格点(A, B, C, 各70点以上)を取った場合IGPⅠの登録申請ができます。
- 2) IGP(IPO)Ⅰ資格登録犬… IGPⅠかIGPⅡに出場できます。ただし、IGPⅡ(A+B+C)に出場する場合はIGPⅡの同時受験が必要です。
- 3) IGP(IPO)Ⅱ資格登録犬… IGPⅡかIGPⅢに出場できます。ただし、IGPⅢ(A+B+C)に出場する場合はIGPⅢの同時受験が必要です。
- 4) IGP(IPO)Ⅲ資格登録犬… IGPⅢにのみ出場できます。

## 5 指導手規定

本競技会出場犬の指導手の参加資格は、本会のクラブ会員並びにその家族とし、次の通りとします。

### A. アマチュア指導手の部について

- ① 出陳犬所有者本人、またはその家族(同居の血縁者)の方に限ります。  
※本会の公認訓練士並びにその助手、及びこれに準じる者(訓練を業とした経歴を持つ者)は、アマチュア指導手の部には出場できません。その認定は中央訓練委員会で行います。

### B. 一般指導手の部について

- ① 出陳犬所有者本人、またはその家族(同居の血縁者)の方。
- ② 本会の公認訓練士並びにその助手、及びこれに準じる者(訓練を業とした経歴を持つ者)。
- ③ 自己所有犬以外の犬を指導する方。

## 6 競技課目

### ■アマチュア指導手の部

#### 第1部 家庭犬準初等科(CDⅠS)

50点 5課目中規定2課目(下記)

- ① 紐付脚側行進(往復常歩) ② 紐付立止

次の13課目のうちから3課目選択

ア. 紐付伏臥、イ. 紐付行進並びに伏臥、ウ. 紐付行進並びに停座、エ. 紐付行進並びに立止、オ. 紐付障害飛越(片道)、カ. 紐付据座、キ. 紐付休止、ク. 紐付お手・おかわり、ケ. 紐付チンチン、コ. 紐付くわえて歩く、サ. 紐付寝ろ、シ. 紐付吠えろ、ス. 紐付だっこ

#### 第2部 家庭犬初等科(CDⅠ)

50点 規定5課目(下記)

- ① 紐付脚側行進(往復常歩) ② 紐無し脚側行進(往復常歩) ③ 停座及び招呼 ④ 伏臥 ⑤ 立止(紐無し)

#### 第3部 家庭犬中等科(CDⅡ)

100点 10課目中規定7課目(下記)

- ① 紐付脚側行進(往路は常歩・復路は速歩) ② 紐無し脚側行進(往路は

# 実施要領

常歩・復路は速歩)③停座及び招呼④伏臥⑤立止(紐無し)⑥常歩行進中の伏臥⑦常歩行進中の停座 他3課目

## 第4部 家庭犬準高等科 (CDIII)

150点 15課目中規定10課目(下記)

①～⑦までは家庭犬中等科と同じ⑧常歩行進中の立止⑨障害飛越(片道)⑩休止 他5課目

## 第5部 家庭犬高等科 (CDIII)

200点 20課目中規定14課目(下記)

①～⑦までは家庭犬中等科と同じ⑧常歩行進中の立止⑨物品持来⑩遠隔・停座から伏臥⑪障害飛越(片道)⑫障害飛越(往復)⑬据座⑭立止 他6課目

## 第6部 服従スペシャル

100点 10課目

①紐無し脚側行進(往路常歩、復路速歩)②立止(紐無し)③停座及び招呼④常歩行進中の伏臥及び招呼⑤常歩行進中の立止及び招呼⑥物品持来⑦遠隔・伏臥から停座⑧遠隔・立止から伏臥⑨速歩行進中の伏臥⑩速歩行進中の停座

## ■一般の部

## 第7部 家庭犬準初等科 (CDIS)

50点 5課目中規定2課目(下記)

①紐付脚側行進(往復常歩)②紐付立止

次の13課目のうちから3課目選択

ア.紐付伏臥、イ.紐付行進並びに伏臥、ウ.紐付行進並びに停座、エ.紐付行進並びに立止、オ.紐付障害飛越(片道)、カ.紐付据座、キ.紐付休止、ク.紐付お手・おかわり、ケ.紐付チンチン、コ.紐付くわえて歩く、サ.紐付寝ろ、シ.紐付吠えろ、ス.紐付だっこ

## 第8部 家庭犬初等科 (CDI)

50点 規定5課目(下記)

①紐付脚側行進(往復常歩)②紐無し脚側行進(往復常歩)③停座及び招呼④伏臥⑤立止(紐無し)

## 第9部 家庭犬中等科 (CDII)

100点 10課目中規定7課目(下記)

①紐付脚側行進(往路は常歩・復路は速歩)②紐無し脚側行進(往路は常歩・復路は速歩)③停座及び招呼④伏臥⑤立止(紐無し)⑥常歩行進中の伏臥⑦常歩行進中の停座 他3課目

## 第10部 家庭犬準高等科 (CDIII)

150点 15課目中規定10課目(下記)

①～⑦までは家庭犬中等科と同じ⑧常歩行進中の立止⑨障害飛越(片道)⑩休止 他5課目

## 第11部 家庭犬高等科 (CDIII)

200点 20課目中規定14課目(下記)

①～⑦までは家庭犬中等科と同じ⑧常歩行進中の立止⑨物品持来⑩遠隔・停座から伏臥⑪障害飛越(片道)⑫障害飛越(往復)⑬据座⑭休止 他6課目

## 第12部 服従スペシャル

100点 10課目

①紐無し脚側行進(往路常歩、復路速歩)②立止(紐無し)③停座及び招呼④常歩行進中の伏臥及び招呼⑤常歩行進中の立止及び招呼⑥物品持来⑦遠隔・伏臥から停座⑧遠隔・立止から伏臥⑨速歩行進中の伏臥⑩速歩行進中の停座

## 第13部 特別犬の部(非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬)

家庭犬中等科の課目内容とする。

## 第14部 臭気選別自臭の部 (図1参照)

## 第15部 臭気選別他臭の部 (図1参照)

- 10m前方の選別台にある5個の布片の中から、1個の本臭物品を持来する。
- 1頭の犬が連続4回実施する、4回成功した犬をCHグループとし2次作業を行う。
- 物品を台上に配置するときは、人犬共に後ろ向きになる。
- 作業時間は、本臭を嗅がせ始めてから1分以内とする。
- 決勝のための2次作業以降は、ビニール、箸、紙等を異物品として使用することがあり、犬の前後動作も採点する。



## 第16部 足跡追及自臭の部

## 第17部 足跡追及他臭の部

## 第18部 オビディエンスビギナーI (別紙参照)

## 第19部 オビディエンスビギナーII (別紙参照)

## 第20部 オビディエンスI (別紙参照)

## 第21部 オビディエンスII (別紙参照)

## 第22部 オビディエンスIII (別紙参照)

★オビディエンス競技において、ダンベルは各自でご用意ください。

## 第23部 ラリーオビディエンスI

## 第24部 ラリーオビディエンスII

★ラリーオビディエンスの申込みではサイズの選択があります。また、ラリーオビディエンス実施要領及び課目パネルについては、JKCのホームページよりご確認ください。

## 第25部 FCI国際作業犬I (IGPI)の部

## 第26部 FCI国際作業犬II (IGPII)の部

## 第27部 FCI国際作業犬III (IGPIII)の部

IGPI、II、III総合競技(A+B+C)採点基準  
総合得点が同点の場合はCの得点の多いものを上位とする。Cが同点の場合はBの得点の多いものを上位とする。C、B同点の場合は年齢の若い犬を上位とする。

## 第28部 IGP I 足跡作業単課目の部

## 第29部 IGP I 服従作業単課目の部

## 第30部 IGP I 防衛単課目の部

## 第31部 IGP II 足跡作業単課目の部

## 第32部 IGP II 服従作業単課目の部

## 第33部 IGP II 防衛追及単課目の部

## 第34部 IGP III 足跡作業単課目の部

## 第35部 IGP III 服従作業単課目の部

## 第36部 IGP III 防衛追及単課目の部

# 実施要領

## 7 注意事項

### (1) 審査に関するご注意

- ① 作業中とは入場から退場までをいいます。作業中としての審査は、課目と課目の間も対象になります。
- ② 犬の首輪は、バンドナ、チェーン、カラーなどを含めて、一つだけの装着とします。
- ③ 指導手はポシエツ類の装着はできません。
- ④ ラッピングされた状態での出陣は認められません。また、ラッピングの箇所や数については制限いたしません。

### (2) 各課目に共通したご注意

- ① 規定課目を行う場合は、各動作を1声符のみで完全に行われた場合を満点とし、視符を使った場合は最小単位の減点があります。(前進、障害を除く)
- ② 作業中、逸走した場合、その課目は0点となります。呼び出してすぐ戻ったものは次の課目に進めます。2回逸走した場合は以降の作業は中止となります。(ただし過度の逸走は、1回でも作業中止となる場合があります。)
- ③ 指導手がボール、えさ等を持って作業した場合は失格となります。
- ④ 作業中の大便、小便は大きな減点となります。
- ⑤ 審査員(またはスチュワード)の指示で命令をしなければならぬ時に、指示前にした場合は減点となります。
- ⑥ 作業中に不自然な、または余分な声視符、並びに誘導的動作は減点の対象となります。
- ⑦ 指導手の命令前に犬が動作した場合は、減点となります。
- ⑧ 作業中犬の首輪を持った場合は減点となります。(選別作業は除く。)
- ⑨ 作業会場の入場から退場まで、犬に対する体罰は許されず、失格もありえます。
- ⑩ 各課目の最後の脚側停座は、「アトエ」または「スワレ」の1声符のみで完全に行われた場合にのみ、満点となります。それ以上の声視符は使用毎に最小単位の減点があります。
- ⑪ 対面して行う作業は、必ず犬を一旦停止させ、審査員の指示により、犬を呼び脚側停座で終わります。(実施要領に特定の記載のある課目は除く)
- ⑫ 指導手が課目や実施要領を間違えた場合は、減点の対象となります。ただし、課目の作業前に審査員もしくはスチュワードに課目順を質問することは問題ありません。

## 8 入賞

(1) 各部の審査終了後、審査員長により、理事長賞審査が行われます。

(2) 理事長賞決定競技の実施要領が以下のように変更となります。

- ① 規程課目1課目及び選択課目4課目、合計5課目で実施します。  
規定課目…(1)紐無脚側行進  
選択課目…(1)紐付脚側行進(2)停座及び招呼(3)伏臥(4)立止(5)常歩行進中の伏臥(6)常歩行進中の停座(7)常歩行進中の停座及び招呼(8)常歩行進中の伏臥及び招呼
- ② 選択課目については、8課目の中から当日の審査員長が4課目を決定します。
- ③ 実施する5課目の順番は、審査員長が予め決定し、全犬同じ課目順で実施します。
- ④ 選択課目及び実施順番は、当日の朝に発表します。

(3) 各部各クラス1席より10席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

## 9 トレーニングチャンピオン(FCI)並びにグランドトレーニングチャンピオン(G.T.CH.)並びにFCIインターナショナルワーキングチャンピオン(INT.W.CH.)登録制度

(1) 中等科・準高等科・高等科、服従スペシャル、足跡追及他臭の部、国際作業犬(IGP総合競技の部)、IGP単課目の部(IGP I 足跡追及の部を除く)において95%以上の得点を得た犬、臭気選別他臭の部で4回中3回以上成功した犬、オビディエンスI~IIIで80%以上の得点を得た犬にトレーニングチャンピオン(T.CH.)ポイント10Pを交付します。

訓練競技大会(本部主催)10P、ST連合会訓練競技会7P  
ブロック訓練競技会7P、クラブ訓練競技会5P

また、オビディエンスビギナーIIで80%以上の得点を得た犬にはトレーニングチャンピオン(T.CH.)ポイント5Pを交付します。

訓練競技大会(本部主催)5P、ST連合会訓練競技会3P  
ブロック訓練競技会3P、クラブ訓練競技会2P

なお、家庭犬初等科、足跡追及自臭の部(東西日本トライアル・S T連合会・ブロック・クラブ競技会のみ)、IGP I 足跡追及単課目の部において95%以上の得点を得た犬、臭気選別自臭の部で4回全て成功した犬、オビディエンスビギナーIで80%以上の得点を得た犬にはトレーニングチャンピオン(T.CH.)ポイント3Pを交付します。

訓練競技大会(本部主催)3P、ST連合会訓練競技会2P、  
ブロック訓練競技会2P、クラブ訓練競技会1P

- (2) アペンディクス登録犬及び本会登録犬以外の犬は訓練チャンピオン資格犬にはなりませんので、トレーニングチャンピオンポイント及びメジャー・トレーニングチャンピオンポイントは付与されません。
- (3) トレーニングチャンピオンポイントのうち、家庭犬準高等科・家庭犬高等科、服従スペシャル、臭気選別他臭の部、足跡追及他臭の部、オビディエンスI~III、国際作業犬試験(IGP総合競技の部)は、メジャーポイントになります。
- (4) トレーニングチャンピオン(T.CH.)資格の取得と登録
  - ① トレーニングチャンピオンポイント(T.CH.P.)を20ポイント以上取得した犬に与えられます。ただし、取得した20ポイントのうち2枚以上は5ポイント以上のT.CH.ポイントでなければなりません。
  - ② T.CH.取得に際しては、CDII以上(GD、IGP、BH、OBを含む)の訓練試験資格の登録をしなければなりません。
- (5) グランドトレーニングチャンピオン(G.T.CH.)資格の取得と登録
  - ① G.T.CH.の資格条件は、T.CH.P.を60ポイント以上有する犬に与えられます。ただし、メジャーポイントを1枚以上取得していることと、T.CH.の登録を期限内に申請していることが条件となります。
  - ② 仮に24ポイントで、トレーニングチャンピオン登録を行った場合、残り36ポイントでグランドトレーニングチャンピオンの資格条件が与えられます。
- (6) キャシト(CACIT)について
  - ① FCIインターナショナルトライアルの国際作業犬試験III 1席犬で、得点が270点以上の場合にはキャシト(CACIT)が付与されます。
  - ② 前項の該当犬がFCIワーキングチャンピオンの資格条件を達成している場合、次席犬にリザーブキャシト(R.CACIT)が付与されます。
  - ③ キャシト(CACIT)及びリザーブキャシト(R.CACIT)は当日仮証を発行し、後日FCIによって承認されたものは本証が発行されます。
- (7) FCIインターナショナルワーキングチャンピオン(INT.W.CH.)資格の取得と登録
  - ① 足跡追及・服従作業・防衛作業の各課目ごとに異なる審査員が審査している2枚のキャシトを取得しており、最終のキャシト取得は、最初のキャシト取得日から1年1日以上を経過した後の日付のものであること。
  - ② IGP(IPO) IIIの訓練試験資格の登録をしなければなりません。
  - ③ FCIインターナショナルビューティーチャンピオンの資格を取得しているか、FCIインターナショナルドッグショーでベリーグッド以上の評価を得ていること。
- (8) 登録料は、T.CH.及びINT.W.CH.が3,500円、G.T.CH.が6,800円です。
- (9) チャンピオン登録を行いますと、チャンピオン証明書が贈られ、血統証明書にT.CH.、G.T.CH.またはINT.W.CH.の称号が印字され、その名誉が永久に記録されます。
- (10) トレーニングチャンピオン、グランドトレーニングチャンピオン登録に際しては、当該犬のDNA登録が必要となりますので、ご注意下さい。